

第3学年 国語科学習指導案

平成20年9月24日(水) 第5限
 指導者
 場所 3年教室

1 単元名 進んで話し合い、発表しよう

2 単元の目標

- ・分類することの意味に関心を持ち、分類されているものを調べようとする。
 (国語への関心・意欲・態度)
- ・「分類」について、互いの考えの相違点や共通点を考えながら、話し合う。
 (話すこと・聞くこと ウ)
- ・調べた内容が分かりやすく伝わるように、筋道を立てて丁寧な言葉使いで話すことができる。
 (話すこと・聞くこと ア)
- ・分類を読み、内容を理解することができる。
 (読むこと オ)
- ・その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さで話すことができる。
 (言語についての知識・理解・技能)

3 指導にあたって

(1) 教材観

本単元では、「話すこと・聞くこと」の力をつけることに重点をおいている。自分で分類し、その分類の観点について話し合いをする。その際、友だちの考えと自分の考えとの相違点や共通点を考えながら聞く。二次では、分類について課題を持ち、調べたことをまとめる。

教材の「ねこたちの絵」は、たくさんの分類の要素をふくんでいる。分類の仕方が様々であるため、他の児童との相違点や共通点が多くみつけられると思う。児童にとっても興味・関心を持ちやすい教材である。

児童は、1学期に「道案内をしよう」で順序に気をつけて話したりするなど、聞いたりすることを学習している。3学期には「名前をつけよう」で話し合いの手順の基礎を学ぶ。

(2) 児童観

何事にも意欲的で課題にも真面目に取り組む児童が多い。しかし、話す力、聞く力は個人差が大きいため、自分の考えをまとめて話すことができる児童は少ない。

毎朝一人ずつ「朝のスピーチ」を行ったり、帰りの会で「楽しかったこと、うれしかったこと」を発表するなど、みんなの前で話す機会を持ってきた。少しずつ、話すことに抵抗を感じなくなっているが、声の大きさを意識できなかつたり、自分の感じたことや思ったことを表現できなかつたりするなどの課題がある。

(3) 指導観

分類する時に必要な情報を整理する力は、これからの社会に必要なものである。また、それぞれの観点が違うことに気づき、お互いの考えを尊重し合うことも、豊かな人間関係を形成していくために大切なことである。分類する活動にじっくり時間をとり、分類の仕方について自分で情報をまとめ、整理することができるようにしていく。グループでの話し合い活動を取り入れることで、お互いの考えや思いを聞くことができる。また、話すことに抵抗を感じている児童には活動しやすいよう、話し方の見本を示して抵抗感を少なくする。インタビューや発表などの活動を通して、話したり聞いたりすることの良さや注意点、言葉遣いなどを学ばせていきたい。

(4) 活用力向上の視点 ウー(イ) PISA型読解力向上プログラム7つの視点

話し合いをする時、どのような視点ですればいいのか、どのように話したらいいのかなど個人差があり、意見を述べにくい児童がいる。単に聞くだけでなく、どんなことに気をつけて聞けばいいのかを明確にし、自分の考えとの相違点や共通点について話せるようにしていきたい。また、話し方や声の大きさなどを意識させることで、話し合いの基本を身につけさせたい。

4 本時の学習（第一次の5時）

(1) 教材名「分類」ということ

(2) 本時のねらい

・「分類」のしかたについて考えを述べたり、聞いたりして、自分の考えと比べ、深めることができる。

(3) 評価規準

・友だちがした「分類」について、自分との相違点や共通点を比べながら話し合っている。

(話すこと・聞くこと)

(4) 準備 ワークシート 猫の挿絵

(5) 展開

学習活動	教師の働きかけと児童の意識の流れ	支援(○) 評価(◎) 留意点(・)
1 「分類」について学習を振り返る。 (5)	○「分類」の意味や良さは何でしたか？ ・同じ特徴をもつものどうしをまとめていくつかのあつまりに分けること。 ・何かをしたり考えたりするときに役立つ。 ・その人の見方・考え方が表れる。 ・気づかなかった特徴を発見することができる。	・本時の課題とつなげるために、前時をふりかえる。
2 今日の課題を知り、分類を見直す。 (10)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">もう一度分類して、分類のしかたについて話し合おう。</div> (例) ・ぼくは、ねこの体のもように分けて、それからくつをはいているねことそうでないねこにわけました。 ・体のもように分けたところが同じです。でも、わたしは、服を着ているねこと着ていないねこに分けてみました。 ・体のもように分けたところは同じだけど、わたしは魚をもっているか、いないかで分けました。 ・分け方がぼくと全然ちがいます。ぼくは、はじめにぼうしをかぶっているか、いないかでわけました。その次に、目をみて分けました。	・前に分類したものをさらに分けるようにする。 ・話し合いがしやすいよう、相違点や共通点をワークシートに書く。
3 グループで話し合う。 (15)	・体のもように分けたところが同じです。でも、わたしは、服を着ているねこと着ていないねこに分けてみました。 ・体のもように分けたところは同じだけど、わたしは魚をもっているか、いないかで分けました。 ・分け方がぼくと全然ちがいます。ぼくは、はじめにぼうしをかぶっているか、いないかでわけました。その次に、目をみて分けました。	◎友だちがした「分類」について、自分との相違点や共通点を比べながら話し合っている。 ウー(イ) (発言・観察) ○どの観点で分類しているかを書いて、比べやすいようにする。
4 グループで話し合ったことを発表し、学習の振り返りをする。 (13)	○グループで話し合ったことを発表しましょう。 ・〇〇さんの分類のしかたは、とても細かいところまでしていました。 ・目に注目している人がいて、おもしろいと思いました。 ・いろいろな見方があって、みんな分類のしかたがちがっていました。	・グループの発表の後、その相違点や共通点について気づかせるようにする。
5 次時の課題をもつ。 (2)	<div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">目をつけるところによっていろいろな分類の仕方があるんだね。 友だちの考え方が分かったよ。 新しい特徴が発見できたよ。</div> ぼくの家ダンスについて調べたいな。 図書室の本について調べたいな。	・調べ学習をすることを明らかにする。

